

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	大田市民会館		No.	133
大分類	01市民文化系施設			
小分類	市民会館			
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称		
有	計画名			計画期間
無	策定期限	-	今後の 策定予定の有無	あり

担当部署名	教育部石見銀山課
ブロック	中央
地区	大田

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	該当しない	該当する	⑤複合化
『該当する』を 選択した理由	平成23、24年度に耐震補強工事を行ったが、施設や設備の老朽化・劣化が進んでおり、今後10年間程度で使用できなくなることが見込まれる。市の文化・芸術振興の拠点となる施設であることから人口動態、複合化などを考慮しながら適切な機能規模となる施設整備が必要である。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022～2027年度)						第3期 (2028～2033年度)	
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
独自									
評価が達成される年度		2029 年度以降			←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況	大田市民会館および大田市民センター関係者（所管課、指定管理者、施設内事業者）を集めた協議（現状の把握、問題点の整理等） 市民会館及び市民センター共用部分の修繕。部内において整備の方向性の決定。庁内の市民センター関係者を集め、今後の施設の在り方についての情報共有。		複合施設であるため、市民会館単独での方針決定とはならない。市内にある「あすてらす」や「サンレディー大田」などの類似施設も考慮する必要があり、市として方針決定をすべき案件である。市民会館の整備の方向について、庁内での協議・検討を進める必要がある。
	2022年度	市民会館の修繕・改修が必要な箇所及び現状について、建築営繕課の協力を得ながら確認するとともに優先順位を付け、計画的に整備する。また関係部署への状態の説明や情報共有を行う。	進捗していない	市民会館の整備の方向について、庁内での協議・検討を進める必要がある。
第2期	2023年度	県内他施設などの調査、情報収集を行い、現状把握、情報共有、関係部署との協議を開始する		
	2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	昭和38 年	関連条例等	大田市民会館の設置及び管理に関する条例
建物延面積	4,420.74 m ²	設置(目的等)	市勢の発展を図り、市民の福祉増進に寄与するため、市民集会の場として大田市民会館（以下「会館」という。）を設置する。
構造	鉄骨鉄筋コンクリート造	適正化計画上の実施方針	未掲載（今後検討し方針決定へ）
耐震の有無	旧耐震(耐震済)		
Is値	—		
摘要欄	指定緊急避難場所の災害別区分：洪水×		

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他	264,806円	行政財産目的外 使用食堂光熱水	使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計	264,806円		※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料	51,846,800円		指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用	4,172,863円	非常照明設備更新 他	施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	348,629円	火災保険	上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計	56,368,292円		※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額	-56,103,486円		市民一人あたり税金充当額	-1,725円/人
	延床面積あたり税金充当額	-12,691円/㎡		1日あたり税金充当額(休館日含)	-153,708円/日

(3)利用人数

貸館の有無	あり						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数	51,135	49,549	22,834	30,955	34,729	37,840	91%

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	坂瀬遺跡保存舎			No.	136
大分類	02社会教育系施設				
小分類	その他				
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称			
有	計画名				計画期間
無	策定期限	-	今後の 策定予定の有無	あり	策定しない場合 理由

担当部署名	教育部石見銀山課
ブロック	仁摩
地区	仁万

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	該当する	⑦必要規模建替え
『該当する』を 選択した理由	むき出しになっている古墳埋葬施設の(粘土と石による構造物)の保護施設であるため、建て替えを視野に入れながら、文化財保護審議会等で今後のあり方について検討していく。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022～2027年度)						第3期 (2028～2033年度)	
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
独自	建て替え								
評価が達成される年度		2026 年度			←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況	仁万まちづくりセンター主催の歴史講座などで、現地見学ツアーなどを行い周知を図った。		指定文化財を保存するため、箱式石棺を覆うような形で屋根と壁面だけの簡易な保存舎であり、公共施設適正化で検討されている他施設とは目的や用途が異なる。指定文化財を保存するだけであり、十分に活用されていないため、住民の見学会などの利用を図る必要がある
	2022年度	コロナ禍によりツアー等の企画は行われなかった。	進捗していない	壁が一部が剥落するなどの損傷がみられ、修繕か建て替えが必要な状態となっていた。
第2期	2023年度	倒壊の危険があり、立ち入り禁止措置をしている状態である。本来であれば、10月に開催される古墳ツアーなどでの公開が可能であったが、現状ではそれも困難である。		
	2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	昭和35 年	関連条例等	—
建物延面積	24.80 m ²	設置(目的等)	—
構造	木造	適正化計画上の実施方針	未掲載（今後検討し方針決定へ）
耐震の有無	旧耐震(未診断)		
Is値	—		
摘要欄			

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額	
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)	

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	水上文化財収蔵庫		No.	141	担当部署名	教育部石見銀山課	
大分類	02社会教育系施設				ブロック	高山	
小分類	その他				地区	水上	
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称					
有	計画名			計画期間		改定・見直し 時期	
無	策定期限		今後の 策定予定の有無	なし	策定しない場合 理由	当該施設は廃止し、他施設との複合化を検討しているため	

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当する	該当しない	該当しない	該当する	該当する	該当しない	該当しない	①廃止
『該当する』を 選択した理由	収蔵品の保管及び活用に向け、資料保管ができる施設が必要であり移転先検討中。空き校舎等を利活用した他施設との複合化により機能移転を図るとともに当該施設を廃止する。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022～2027年度)						第3期 (2028～2033年度)	
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
独自	収蔵品の確認作業								
	歴史的価値の低い資料の処分								
評価が達成される年度		2027 年度			←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況 庫内収蔵品と現存の収蔵品台帳の照合作業の開始 移転先について庁内関係部課協議		祖式収蔵庫廃止に伴い、祖式収蔵庫内の収蔵品を水上収蔵庫に収蔵したため、収蔵品台帳との照合作業が遅れた
第2期	2022年度 庫内収蔵品と現存の収蔵品台帳の照合作業の実施 収蔵計画案の検討 移転先について庁内関係部課協議	進捗していない	庫内収蔵品の移転先について、使用可能な施設の確保のため庁内関係部署との協議が引き続き必要である。また収蔵管理計画を定め、専門家の指導や文化財保護審議会の意見を受けながら資料の選別を行っていく必
	2023年度 資料収蔵計画の素案を作成し、次年度以降、専門家の指導を受けながら、資料の選別を開始できるよう準備作業を行う		
	2024年度		

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	昭和 49 年
建物延面積	331.00 m ²
構造	鉄骨鉄筋コンクリート造
耐震の有無	旧耐震(未診断)
Is値	—
摘要欄	急傾斜地の崩壊警戒区域内に立地、 特別警戒区域に隣接

関連条例等	—
設置(目的等)	—
適正化計画上の実施方針	現施設は廃止を原則とする。

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額	
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)	

(3)利用人数

貸館の有無							
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	石見銀山世界遺産センター（ガイダンス棟）			No.	375
大分類	01市民文化系施設				
小分類	その他				
個別施設計画（長寿命化計画）の策定有無	なし	個別施設計画（長寿命化計画）マニュアル・ガイドラインの名称			
有	計画名				計画期間
無	策定期限	2024年	今後の策定予定の有無	あり	策定しない場合理由

担当部署名	教育部石見銀山課
ブロック	高山
地区	大森

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる施設評価チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模建替え	担当課の現時点の見解
	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	⑦必要規模建替え
『該当する』を選択した理由	国内外からの来訪者を受け入れ石見銀山遺跡のガイダンス施設として開館。遺産解説や観光に欠かせない機能を有するビジターセンターであるため。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期（2022～2027年度）						第3期（2028～2033年度）	
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
独自	登録20周年に向けたリニューアル								
	建て替え								
評価が達成される年度		2029 年度以降			←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況	長寿命化計画策定のため、関係部局（建設部都市計画課）に対し事前協議		今後、大田市が所管する様々な施設のモデルケースとなる可能性があり、令和3年度に試作的に実施してみたいとの回答
	2022年度	長寿命化・個別施設計画策定のため関係部局（建設部建築営繕課）と継続協議	進捗していない	島根県内における施設管理計画の策定可能な業者が少ないことに加え、県内の様々な公共施設で同様の発注が集中していることから、当施設の発注が困難であるとの回答（建築営繕課より）
	2023年度			
	2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成19 年	関連条例等	大田市石見銀山拠点施設の設置及び管理に関する条例
建物延面積	1,994.69 m ²	設置(目的等)	世界遺産として登録された石見銀山の文化的価値に対する理解を深め、もって市民の文化の振興と向上並びに学術研究の発展及び遺跡の保全活用に寄与するため
構造	木造	適正化計画上の実施方針	未掲載（今後検討し方針決定へ）
耐震の有無	新耐震(新基準)		
Is値	—		
摘要欄			

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入	113,500円	県市職員駐車場	施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金	24,461,000円	県費	国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他	15,000円	イベント収入	使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計	24,589,500円		※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料	39,481,530円		指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用	1,004,700円	展示物等保守業務	施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	8,597,300円	その他管理費	上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計	49,083,530円		※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額	-24,494,030円		市民一人あたり税金充当額	-753円/人
	延床面積あたり税金充当額	-12,280円/㎡		1日あたり税金充当額(休館日含)	-67,107円/日

(3)利用人数

貸館の有無	あり							
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)	
年間利用人数	58,965	64,761	39,221	42,907	66,109	54,392	121%	

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	石銀地区パイオトイレ			No.	378
大分類	01市民文化系施設				
小分類	公衆便所				
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称			
有	計画名				計画期間
無	策定期限	—	今後の 策定予定の有無	あり	策定しない場合 理由

担当部署名	教育部石見銀山課
ブロック	高山
地区	大森

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	⑦必要規模建替え
『該当する』を 選択した理由	国内外からの来訪者の受け入れ環境整備のために設置。石銀地区を訪れる人々にとって必要な施設であるため。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022～2027年度)						第3期 (2028～2033年度)	
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
独自	建て替え								
評価が達成される年度		2029 年度以降			←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期 これまでの取り組み状況			
第2期 2022年度			
2023年度			
2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成22 年
建物延面積	6.61 m ²
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	—
摘要欄	

関連条例等	—
設置(目的等)	小林製薬から寄贈を受け、石銀地区の来訪者用トイレとして利用するため
適正化計画上の実施方針	未掲載（今後検討し方針決定へ）

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金	616,704円	新型コロナウイルス感染症関連事業	国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他	300,000円	小林製薬から管理負担金	使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計	916,704円		※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用	704,000円	外壁、屋根の再塗装等	施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	2,657円	火災保険	上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計	706,657円		※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額	210,047円		市民一人あたり税金充当額	6円/人
	延床面積あたり税金充当額	31,777円/㎡		1日あたり税金充当額(休館日含)	575円/日

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	大久保間歩管理棟			No.	379
大分類	01市民文化系施設				
小分類	その他				
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称			
有	計画名				計画期間
無	策定期限	—	今後の 策定予定の有無	あり	策定しない場合 理由

担当部署名	教育部石見銀山課
ブロック	高山
地区	大森

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	⑦必要規模建替え
『該当する』を 選択した理由	国内外から大久保間歩への来訪者を受け入れる施設として設置。間歩見学に欠かせない施設として機能しているため。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022～2027年度)						第3期 (2028～2033年度)	
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
独自	建て替え								
評価が達成される年度		2029 年度以降			←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況			
第2期	2022年度			
	2023年度			
	2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成20 年	関連条例等	—
建物延面積	9.93 m ²	設置(目的等)	大久保間歩入坑に必要な資材等を保管するため
構造	木造	適正化計画上の実施方針	未掲載（今後検討し方針決定へ）
耐震の有無	新耐震(新基準)		
Is値	—		
摘要欄			

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	1,185円	火災保険	上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		1,185円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-1,185円	市民一人あたり税金充当額	円/人
	延床面積あたり税金充当額		-119円/㎡	1日あたり税金充当額(休館日含)	-3円/日

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	大森町防火貯水槽小屋			No.	381
大分類	01市民文化系施設				
小分類	その他				
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称			
有	計画名				計画期間
無	策定期限		今後の 策定予定の有無	なし	策定しない場合 理由

担当部署名	教育部石見銀山課
ブロック	高山
地区	大森

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	◆インフラ施設扱い
『該当する』を 選択した理由								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022～2027年度)						第3期 (2028～2033年度)	
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
独自									
評価が達成される年度		年度			←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況			
第2期	2022年度			
	2023年度			
	2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成8 年	関連条例等	—
建物延面積	82.85 m ²	設置(目的等)	防火用の貯水槽を格納するため
構造	木造	適正化計画上の実施方針	未掲載（今後検討し方針決定へ）
耐震の有無	新耐震(新基準)		
Is値	—		
摘要欄			

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	91,454円	土地賃借料、貯水槽点検、共済分担金	上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		91,454円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-91,454円	市民一人あたり税金充当額	-3円/人
	延床面積あたり税金充当額		-1,104円/㎡	1日あたり税金充当額(休館日含)	-251円/日

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	石銀地区休憩棟			No.	383
大分類	01市民文化系施設				
小分類	その他				
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称			
有	計画名				計画期間
無	策定期限	—	今後の 策定予定の有無	あり	策定しない場合 理由

担当部署名	教育部石見銀山課
ブロック	高山
地区	大森

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	⑦必要規模建替え
『該当する』を 選択した理由	国内外からの来訪者を受け入れる施設として設置。石銀地区を訪れる者にとって欠かせない施設として機能しているため。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022～2027年度)						第3期 (2028～2033年度)	
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
独自	建て替え								
評価が達成される年度		2029 年度以降			←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期 これまでの取り組み状況			
第2期 2022年度			
2023年度			
2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成26 年
建物延面積	19.87 m ²
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	—
摘要欄	

関連条例等	—
設置(目的等)	石銀地区の休憩施設として利用するため
適正化計画上の実施方針	未掲載（今後検討し方針決定へ）

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	1,205円	火災保険料	上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		1,205円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-1,205円	市民一人あたり税金充当額	円/人
	延床面積あたり税金充当額		-61円/m ²	1日あたり税金充当額(休館日含)	-3円/日

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	市民ふれあいの森公園			No.	384		
大分類	11公園						
小分類	その他						
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称					
有	計画名				計画期間		改定・見直し 時期
無	策定期限	2024年	今後の 策定予定の有無	あり	策定しない場合 理由		

担当部署名	教育部石見銀山課
ブロック	高山
地区	大森

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課の現時点の見解
	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	⑦必要規模建替え
『該当する』を 選択した理由	大田市民のみならず、国内外からの来訪者を受け入れる施設として設置。遺産解説に欠かせない施設として機能しているため。							

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022～2027年度)						第3期 (2028～2033年度)	
動き		2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
独自	登録20周年に向けたリニューアル								
	建て替え								
評価が達成される年度		2029 年度以降			←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取り組み内容・進捗状況等

※下記に記載した取り組み・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取り組み・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
第1期	これまでの取り組み状況	長寿命化計画策定のため、関係部局（建設部都市計画課）に対し事前協議		今後、大田市が所管する様々な施設のモデルケースとなる可能性があり、令和3年度に試作的に実施してみたいとの回答
	2022年度	長寿命化・個別施設計画策定のため関係部局（建設部建築営繕課）と継続協議	進捗していない	島根県内における施設管理計画の策定可能な業者が少ないことに加え、県内の様々な公共施設で同様の発注が集中していることから、当施設の発注が困難であるとの回答（建築営繕課より）
第2期	2023年度			
	2024年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成10 年	関連条例等	—
建物延面積	132.32 m ²	設置(目的等)	—
構造	木造	適正化計画上の実施方針	未掲載（今後検討し方針決定へ）
耐震の有無	新耐震(新基準)		
Is値	—		
摘要欄			

【施設の写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R4決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額	
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)	

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							